

平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場会社名 株式会社ガイアックス 上場取引所 名
 コード番号 3775 URL http://www.gaiax.co.jp
 代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 上田 祐司
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役管理本部長 (氏名) 野澤 直人 (TEL) 03—5759—0376
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 ()

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	2,017	7.2	△47	—	△14	—	△21	—
25年12月期第2四半期	1,882	△2.7	△12	—	△7	—	△11	—

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 △21百万円(-%) 25年12月期第2四半期 △11百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	△4.63	—
25年12月期第2四半期	△3.78	—

(注) 1. 当社は平成25年7月1日付にて1株につき100株の割合をもって株式分割を行っております。このため、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。また、平成25年7月11日の株主確定日における株主に対しライツ・オフリング(ノンコミットメント型/上場型新株予約権の無償割当て)に基づく新株予約権の株主割当てを行い、当該新株予約権の払込が完了しております。ライツ・オフリングに基づく払込金額は時価よりも低いため、前連結会計年度の期首に当該ライツ・オフリングに基づく払込による株式分割相当部分が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第2四半期	2,572	1,498	58.0
25年12月期	2,627	1,518	57.5

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 1,492百万円 25年12月期 1,511百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年12月期	—	0.00			
26年12月期(予想)			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,100	4.0	30~130	—	20~120	—	0~100	—	0.00~21.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期2Q	5,147,752株	25年12月期	5,147,752株
26年12月期2Q	483,572株	25年12月期	492,152株
26年12月期2Q	4,657,319株	25年12月期2Q	3,140,670株

(注)当社は平成25年7月1日付にて1株につき100株の割合をもって株式分割を行っております。このため、発行済株式数(普通株式)は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。また、平成25年7月11日の株主確定日における株主に対しライツ・オファリング(ノンコミットメント型/上場型新株予約権の無償割当て)に基づく新株予約権の株主割当てを行い、当該新株予約権の払込が完了しております。ライツ・オファリングに基づく払込金額は時価よりも低いため、前連結会計年度の期首に当該ライツ・オファリングに基づく払込による株式分割相当部分が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、政府による金融・財政政策の効果を背景に株高や円安が継続するなか、企業収益の改善や個人消費の持ち直しへの期待感が高まっているものの、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動、円安による輸入原材料の上昇やエネルギーコストの上昇などの懸念もあり、依然として先行き不透明な状況となりました。一方、当社グループを取り巻く事業環境は、スマートフォン保有者のSNSサービス利用率が63.4%に達するなど（総務省情報通信白書平成26年版）、SNSの普及率が引き続き増加しており、世界的に展開する最大のSNSサービスを提供しているFacebookが、2014年6月の月間アクティブユーザー数が前年比14%アップの13億2,000万人に達した事を発表するなど、今後も市場が堅調に拡大していくことが見込まれます。また、このようなソーシャルメディアの普及を背景に、ソーシャルメディアをマーケティングやプロモーション、キャンペーン、従業員の採用活動等に活用する動きが加速しており、ソーシャルメディアの企業利用は大きく広がりつつあります。このような状況のもと、当社グループはソーシャルメディアの構築・運営・監視及びソーシャルアプリサポートのリーディングカンパニーとして、引き続き事業の拡大を図って参りました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、主力事業でありますソーシャルサービス事業においては、ソーシャルゲーム向けユーザーサポートサービスの売上が引き続き伸長しております。また、受託開発事業においては、携帯キャリア向けの案件が増加し、売上高に貢献いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,017,344千円（前年同期比7.2%増）となりました。営業損益については、引き続き新サービスの開発投資及び増床に伴う消耗品費等の増加により、47,347千円（前年同期は12,873千円の損失）の損失となりました。経常損益は、保険解約に伴う返戻金、助成金収入及び出資先の持分法による投資利益により営業損失を一部カバーしたものの、14,063千円（前年同期は7,391千円の損失）の損失となり、四半期純利益は21,554千円（前年同期は11,872千円の損失）の損失となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(ソーシャルサービス事業)

《法人向けソーシャルメディア活性化サービス》

Facebookに代表されるソーシャルネットワークやTwitterに代表される（マイクロ）ブログなど、企業によるソーシャルメディア活用のための企画提案・アプリケーション開発や、ガイアックスソーシャルメディアラボによるソーシャルメディアの啓蒙活動などを実施

《法人向けソーシャルメディア運用・監視サービス》

同ソーシャルメディアを企業が運営する上で、24時間体制での運営サポートや投稿監視サービスなどを、日本語及び英語を中心とした多言語にて提供

《教育機関向けソーシャルリテラシーサービス》

学校裏サイトの監視やネットいじめ対策コンサルティングである「スクールガーディアン」や、若い世代の前向きなソーシャルメディア活用を推進するネットリテラシー講座などを提供

《ソーシャルゲーム向けユーザーサポートサービス》

ソーシャルゲームに対するユーザー様からの問い合わせなどにつき、対応代行を24時間・多言語体制で行う「ソーシャルアプリサポート」を提供

《法人向けソーシャルネットワークサービス》

企業の社内コミュニケーションを有機的に活性化していくクラウド型社内SNS「エアリー」などを提供

《デジタルコンテンツサービス》

モバイル/スマホ向けコンテンツ配信「モバリスト」などを提供

当第2四半期連結累計期間におきましては、《ソーシャルゲーム向けユーザーサポートサービス》の売上が順当に増加しております。

この結果、売上高については、1,222,285千円(前年同期比0.6%増)となり、営業損益については、法人向けソーシャルネットワークサービス「エアリー」の大規模リニューアルに伴う開発コストの増加により、37,651千円(前年同期比51.2%減)の利益となりました。

(受託開発事業)

受託開発事業におきましては、子会社の株式会社電縁が主力事業としております。当第2四半期連結累計期間の業績は、第1四半期連結会計期間より携帯キャリア向け案件の受注が拡大したことにより、売上高は順調に増加しております。営業損益については、コストコントロールを強化しているものの、デジタルサイネージや新規コンサルティング事業、新規自社開発などの先行投資費用により、利益が圧迫されました。その結果売上高は、811,848千円(前年同期比17.7%増)、営業損益は、8,188千円(前年同期は12,012千円の損失)の損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2.1%減少し、2,263,447千円となりました。これは、主に現金及び預金が49,924千円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.1%減少し、308,598千円となりました。これは、長期預金が95,620千円、敷金及び保証金が17,639千円減少したこと及びのれんが13,236千円、投資有価証券が75,215千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて2.1%減少し、2,572,046千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて2.1%増加し、777,398千円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が7,094千円、賞与引当金が48,804千円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて14.9%減少し、295,798千円となりました。これは、主に社債が20,500千円、長期借入金が35,878千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて3.2%減少し、1,073,196千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.3%減少し、1,498,849千円となりました。これは、利益剰余金が四半期純損失により21,554千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

弊社の事業領域でありますインターネットビジネス市場は、ソーシャルメディアの利用者がスマートフォンやタブレット端末の普及もあいまって更に拡大していくことが予想されます。売上高については、堅調に推移すると見込んでおりますが、コスト面については、市場優位性の高いサービスへの新規投資を積極的に行いつつも、販売管理費等のコストの低減を図り、利益体質への改善を推進して参る予定です。

現時点においては、平成26年2月19日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,770,929	1,721,005
受取手形及び売掛金	415,345	407,856
仕掛品	62,332	90,639
その他	69,078	49,806
貸倒引当金	△5,642	△5,860
流動資産合計	2,312,043	2,263,447
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	28,062	52,209
車両運搬具(純額)	1,460	730
工具、器具及び備品(純額)	31,229	29,524
リース資産(純額)	-	5,466
有形固定資産合計	60,752	87,930
無形固定資産		
ソフトウェア	4,140	3,400
のれん	9,537	22,773
その他	145	145
無形固定資産合計	13,823	26,319
投資その他の資産		
投資有価証券	28,562	103,778
長期預金	109,210	13,590
敷金及び保証金	90,134	72,494
長期貸付金	6,214	4,163
その他	24,773	19,205
貸倒引当金	△18,103	△18,882
投資その他の資産合計	240,791	194,349
固定資産合計	315,366	308,598
資産合計	2,627,410	2,572,046

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	109,463	116,557
短期借入金	65,000	67,500
1年内返済予定の長期借入金	160,956	156,956
1年内償還予定の社債	41,000	41,000
未払費用	159,297	137,708
預り金	31,003	17,079
未払法人税等	15,207	9,923
賞与引当金	-	48,804
その他	179,238	181,867
流動負債合計	761,165	777,398
固定負債		
社債	69,000	48,500
長期借入金	246,201	210,323
その他	32,400	36,975
固定負債合計	347,601	295,798
負債合計	1,108,766	1,073,196
純資産の部		
株主資本		
資本金	729,685	729,685
資本剰余金	1,042,667	1,043,609
利益剰余金	△120,509	△142,064
自己株式	△142,925	△140,433
株主資本合計	1,508,917	1,490,797
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,079	1,138
為替換算調整勘定	1,056	737
その他の包括利益累計額合計	2,135	1,876
新株予約権	7,564	6,160
少数株主持分	25	14
純資産合計	1,518,643	1,498,849
負債純資産合計	2,627,410	2,572,046

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	1,882,351	2,017,344
売上原価	1,163,662	1,373,724
売上総利益	718,688	643,619
販売費及び一般管理費合計	731,561	690,967
営業損失(△)	△12,873	△47,347
営業外収益		
受取利息	480	537
助成金収入	300	8,512
為替差益	3,484	-
持分法による投資利益	999	21,539
未払配当金除斥益	4,690	-
保険解約返戻金	-	6,634
その他	1,123	1,614
営業外収益合計	11,076	38,837
営業外費用		
支払利息	4,505	3,678
為替差損	-	1,109
貸倒引当金繰入額	560	51
支払保証料	327	312
その他	201	401
営業外費用合計	5,594	5,553
経常損失(△)	△7,391	△14,063
特別利益		
新株予約権戻入益	241	290
特別利益合計	241	290
税金等調整前四半期純損失(△)	△7,149	△13,773
法人税、住民税及び事業税	4,708	7,791
法人税等合計	4,708	7,791
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△11,857	△21,565
少数株主利益又は少数株主損失(△)	15	△10
四半期純損失(△)	△11,872	△21,554

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△11,857	△21,565
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	516	58
為替換算調整勘定	41	△318
その他の包括利益合計	557	△259
四半期包括利益	△11,299	△21,824
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△11,315	△21,813
少数株主に係る四半期包括利益	16	△11

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。